

一般財団法人戸田みらい基金

第5回若手技能者の採用や育成に資する活動に 対する助成報告

“タイル工育成10ヶ年事業&多能工育成15ヶ年事業”
の実践に伴う階層別人材育成の多面的展開

令和元年10月9日

株式会社長谷川

㈱長谷川の会社概要

- ▶ 商号 株式会社 長谷川
- ▶ 設立 1968年5月11日
- ▶ 資本金 5,000万円
- ▶ 代表者 代表取締役 長谷川 正直
- ▶ 所在地 京都市右京区西院久田町148
阪急西院駅から徒歩10分、JR丹波口駅から約15分（バス、徒歩）
- ▶ 事業内容 タイルの施工、検査、改修
太陽光発電システムの販売と施工
太陽光発電所の建設と運用（売電事業）
- ▶ 営業エリア 京都市、京都府、大阪市、大阪府、滋賀県、他
- ▶ 年商 6億0,452万円(2018年5月期)
- ▶ 従業員数 15人(2019年5月期)

戸田みらい基金受諾前からの取り組み 平成30年度国土交通省の「多能工モデル事業」の推進

1. **タイル工事業の(株)長谷川**は平成27年に「タイル工育成10ヶ年計画」を策定してタイル工技能者（職人）の「キャリアモデル」を作成すると共に、「平成27年度 地域建設産業活性化支援事業・ステップアップ支援」を得て人材確保と育成に取り組み、新入社員の採用と従業員の資格取得などのキャリアアップに成果をあげている。
2. 連携先の**左官工事業の(株)木下工業**は長い歴史と事業実績を持ち、(株)大林組、(株)鹿島建設などから左官工事を継続して請負っている実績と技能を保有している。
3. 両社は専門工事業者として発展、成長してきたが、その過程において厳しい経営環境にさらされながらも事業を継続し、次代の人材の確保と育成が必要であるという共通の課題と認識を持っている。
4. 両社は多能工育成実現に欠かせない知識、経験、実績、技能、人材等を有しており、それを活かして次の様な取り組みを行うことに合意している。
 - ◆ 「左官⇄タイル張り多能工育成15ヶ年事業計画」の推進プロジェクト定例会議の開催
 - ◆ 多能工育成カリキュラムの作成
 - ◆ トレーニング施設の環境整備
 - ◆ 左官工、タイル張り工教材（使用材料、施工方法等）の制作
 - ◆ 座学及び実技・実習教育訓練の実施
 - ◆ 教育訓練状況の対外的PR（ホームページの開設、アップロード）
 - ◆ 技能検定試験準備

戸田みらい基金 実施計画

[テーマ]

タイル工育成10ヶ年事業&多能工育成15ヶ年事業”の実践に伴う

【目的】

階層別人材育成の多面的展開

4年目に入った[タイル工育成10ヶ年事業]にプラスして本年は「多能工育成15ヶ年事業」の実践としてタイル工としての技量の質と幅の一層の向上を図る

【実施事項】

1. ベテランクラスを対象に10月に京都で開講される基幹技能者講習を受講させる
2. 中堅クラスを対象に9月～3月タイル工+左官工として対応できる多能工としての実践研修を行う。
3. 若手クラスを対象に11月に開催される技能五輪に出場する社員に対して事前訓練と引率指導を行う。
4. 新人クラスを対象に2019年3月に新入社員研修を行う。
5. 若手・新人クラスに対するタイル張り工職業能力評価基準を策定すると共にオリエンテーションを行う

多能工モデル事業 タイル下地躯体調整研修

課題

1. 外壁タイル下地における躯体段差の調整
2. 建具枠廻りのチリ調整
3. 外壁タイル下地における躯体出隅通り調整
4. 次のステップ

全 13 ページ : 抜粋

1. タイル下地における躯体段差の調整

- 躯体段差の調整方法



3. 外壁タイル下地における躯体出隅通り調整

- 出隅の調整方法



規定の出隅に合わせ墨だし、糸張りを行う。糸に合わせて定本を貼り出隅を調整する。

座学及び実技・実習教育訓練の実施

11月17日(土)～18日(日)各8時～17時

「タイル下地躯体調整研修」を行った。

左官専門講師2名、

(株)長谷川 受講生3名 研修員委員会

カリキュラム及びテキストに準じて「Go Pro」

2台を導入し、講師用、生徒用で活用した





国土交通省多能工育成モデル事業「左官⇄タイル張り能工育成15ヶ年事業」における国交省からのヒアリング対応場面



技能五輪への挑戦



技能五輪「タイル張り工」に出場した社員の奮闘場面

戸田みらい基金助成の成果

1. 上級職長としての公的資格である基幹技能者講習に合格することにより、施工管理、指導力の自覚実行力が増加した。
2. 左官とタイルが混在する現場での下地調整からの一貫施工により、多能工として左官技法を体得した結果、施工生産性の向上を実証できた。
3. 第56回技能五輪全国大会タイル張りで銅賞（3位）受賞により、出場者本人の力量発揮と、後輩たちへの手本となった。
4. 新人社員二人に対してプロとしての生き方、姿勢・態度などの認識、タイル張り技法の基本を体得させた。
5. 若手・新人たちは1・2級技能検定受験を含む計画的なキャリアアップのための目標を設定し取り組んでいる。

9

振り返りとお礼

- ◆ 10年ほど前から作業員不足、若手の人手不足ということで、求人活動をしましたが、最初の5年くらいは、どこの高校も見向きもしてくれませんでした。
- ◆ 毎年、毎年諦めずに説明会に参加すると進路の先生方とは顔見知りとなり、親しく接し相談・応対していただけるようになりました。
- ◆ 何事も最後まで諦めないことを信条に、高校訪問にはDVDによる働き方・見える化の訴求、正規社員としての採用～新入社員研修～技能訓練・検定合格の10か年育成事業の仕組みと実践などが進路担当の先生方の評価につながっていきました。
- ◆ 長期的な視点に立った求人活動により毎年、1名～2名を採用できるようになりました。そして、去年は、採用高校卒業の大学生の紹介を受けて、営業として採用することもできました。
- ◆ 今般、戸田みらい基金様から貴重な助成金を頂いたことにより、ご紹介した技能五輪への出場、多能工育成事業などに弾みをつけることができたことに感謝しております。
- ◆ そして今年も、3名の高校内定者をだすこともできました。次代を担うタイル工技術を持つ人材を継続して育成、輩出していく所存です。皆様方のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。
- ◆ ご清聴ありがとうございました。

10